

砺波市立学校規模適正化検討委員会のこれまでの経過について

1 設置目的

本市の小中学校の適正規模及び配置については、総合教育会議での意見を踏まえ、「砺波市立学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方」（令和5年2月）を基に検討を進めることとされており、令和5年4月1日現在の14歳以下人口から推計した場合、令和9年度以降の般若中学校及び庄川中学校の学級数が適正規模に満たなくなることから、これらについての具体的方策を答申していただくため設置したものの。

2 適正規模

◇望ましい学級数

小学校：1学年2学級以上

中学校：1学年3学級以上

◇望ましい学級人数

小中学校：1学級あたり20人以上

◆適正化を進める必要がある学校規模

小学校：複式学級となる場合

中学校：全学年が1学級となる場合

3 適正配置

◇望ましい通学距離

小学校：原則4km以内

中学校：原則6km以内

◇望ましい通学時間

小中学校：適切な通学手段を確保することで、概ね1時間以内

4 適正化検討委員会の組織（16名）

- | | |
|------------|----|
| (1) 学識経験者 | 1名 |
| (2) 地域の代表者 | 4名 |
| (3) PTA関係者 | 5名 |
| (4) 学校関係者 | 3名 |
| (5) 商工業関係者 | 2名 |
| (6) 公募 | 1名 |

5 これまでの経過

- (1) 令和5年7月19日(水)第1回砺波市立学校規模適正化検討委員会
内容：趣旨説明や委員長の互選、学校区別14歳以下の人数、学級数等の現状について
- (2) 令和5年9月27日(水)第2回砺波市立学校規模適正化検討委員会
内容：学校規模適正化の具体的な方策におけるメリット・デメリットや地区説明会での意見などについて
- (3) 令和5年12月6日(水)第3回砺波市立学校規模適正化検討委員会
内容：出町中学校及び般若中学校の視察
- (4) 令和6年3月21日(木)第4回砺波市立学校規模適正化検討委員会
内容：学校規模適正化の具体的方策等に関する委員のアンケート結果や具体的な方策(素案)の取り纏めなどについて

6 第4回までの委員の主な意見

- ア 庄西中学校、般若中学校、庄川中学校の3校での統合
- イ 般若中学校区のための小中一貫校 or 庄川中学校区のための小中一貫校

※このことを踏まえ、般若中学校区及び庄川中学校区の地域の皆さんや保護者のご意見を聴取すること。